

2022年度

第1四半期決算

期間：2021年10月1日～12月31日

2022年2月10日、ドイツ・ミュンヘン

2022年度は好調なスタート

「2022年度は、非常に好調なスタートを切ることができました。すべての事業で高い価値の成長を続けています。好調な業績を達成し、購入価格配分前の1株当たり利益は20%増益となりました。同時に、私たちは引き続きテクノロジーに特化した企業としてのポートフォリオをさらに強化してまいります。この結果は、私たちがデジタル化とサステナビリティをより速く推し進めるリーダーであることを印象づけています」 --シーメンスAG社長兼CEO ローランド・ブッシュ

「シーメンスは、2022年度第1四半期において、すべての主要指標において非常に好調な財務実績を続けています。多くの主要市場における成長機会を大いに活用するとともに、10億ユーロ以上の優れたフリーキャッシュフローを達成しました」 -シーメンスAG CFO ラルフ・P・トーマス

- 第1四半期の受注はすべてのインダストリービジネスで2桁成長により、前年同期比52%増の242億ユーロ、売上は前年同期比17%増の165億ユーロとなり、出荷受注比率は1.47。
- 為替変動および主にVarian Medical Systems, Inc. (Varian社) の買収によるポートフォリオ効果の影響を除いた前年同期比の受注は42%増、売上は9%増。
- インダストリービジネスの利益は、前年同期比12%増の25億ユーロ、利益率は15.7%。
- 純利益は20%増の18億ユーロ、基本1株あたり利益 (EPS) は2.05ユーロ、購入価格配分会計適用前のEPS (PPA前のEPS) は2.24ユーロ。
- 継続事業および非継続事業からのフリーキャッシュフローは前年同期比で増加し、11億ユーロ。

2022年度より、特定の財務指標の定義および「連結財務諸表に対する調整表」内の報告構造を、2021年度の統合経営報告書に記載されているとおりに調整しました。また、Varian社の買収に関連する購入価格の配分を更新しました。前年度の数値はそれに合わせて表示されています。

SIEMENS



| (単位：100万ユーロ) | 第1四半期 | | 増減 (%) | |
|-------------------------------------|--------|--------|--------|-----|
| | 2022年度 | 2021年度 | 実績 | 比較 |
| 受注 | 24,209 | 15,940 | 52% | 42% |
| 売上 | 16,497 | 14,071 | 17% | 9% |
| 利益 (Adjusted EBITA) インダストリービジネス | 2,460 | 2,189 | 12% | |
| 内：退職手当 | (36) | (37) | | |
| 利益率 (Adjusted EBITA) インダストリービジネス | 15.7% | 16.5% | | |
| 退職手当を除く | 16.0% | 16.7% | | |
| 継続事業からの利益 | 1,812 | 1,475 | 23% | |
| 内：退職手当 | (46) | (52) | | |
| 非継続事業からの利益 (税控除後) | (15) | 23 | 該当なし | |
| 純利益 | 1,796 | 1,498 | 20% | |
| 基本1株あたり利益 (単位：ユーロ) | 2.05 | 1.72 | 19% | |
| PPA前のEPS (単位：ユーロ) | 2.24 | 1.86 | 20% | |
| フリーキャッシュフロー (継続事業) | 1,124 | 906 | 24% | |
| フリーキャッシュフロー (非継続事業) | (30) | 66 | 該当なし | |
| フリーキャッシュフロー (継続事業と非継続事業) | 1,095 | 972 | 13% | |
| キャッシュ・コンバージョン・ レート | 0.61 | 0.65 | (6)% | |
| ROCE (継続事業と非継続事業) | 16.4% | 13.2% | | |

- 新型コロナウイルスによるパンデミックの影響で複雑なマクロ経済環境が続くなか、シーメンスの主な市場の多くでは成長機会が拡大。電子部品と原材料、ロジスティクスにかかわるサプライチェーンのリスクの増大による大規模な混乱を回避。
- 顧客の積極的な調達活動の影響もあり、デジタルインダストリーズの受注が好調、スマートインフラストラクチャーの受注が大幅に増加。モビリティの受注は、ドイツでの15億ユーロの契約獲得を含む大口受注の急増により約2倍。
- 売上はすべてのインダストリービジネスおよびすべての事業地域で増加、前年同期比でデジタルインダストリーズの2桁成長が牽引。
- 為替変動の影響は、受注、売上ともに3ポイントの加算をもたらした。ポートフォリオ効果は、主に2021年度第3四半期のVarian社の取得に関連するもので、受注に7ポイント、売上に6ポイントの加算をもたらした。
- インダストリービジネスの利益はすべてのインダストリービジネスの利益が伸びたことにより増益。デジタルインダストリーはオートメーション事業が好調であったが、ソフトウェア事業は事業の一部をソフトウェア・アズ・ア・サービス (SaaS) に移行する計画的費用が発生したことにより減益、スマートインフラストラクチャーは電気製品事業が大きく貢献したことにより大幅に増益。
- シーメンス・ファイナンシャル・サービスの税引前利益が大幅に増加。連結財務諸表への調整では、新規株式公開後のFluence Energy, LLC (Fluence社) への投資に関連する税引前利益3億ユーロ (税引後2億ユーロ) が貢献、企業結合で取得した無形資産の償却費は主にVarian社の買収により前年同期比1億ユーロ増加。
- 前年度の目覚ましい業績に続き、インダストリービジネスのフリーキャッシュフローは14億3,500万ユーロとなり、2021年度第1四半期の14億6,800万ユーロとほぼ同水準に。
- 2021年12月31日現在の年金引当金および類似債務は、29億ユーロ (2021年9月30日時点では28億ユーロ)。
- ROCEは純利益の大幅な増加により、目標値に達した。2022年度以降、ROCEにはVarian社の買収に伴う定義済みの効果は含まれない。